

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音響概論Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ PAコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験: 29年 PA会社を経て数多くのアーティストのPAサポートを行い、デジタル伝送システムの構築を発信している。コンサート以外では、テーマパーク、エキシビションのサウンドデザインを担当している。				
授業概要					
オフラインコンソールの操作方法、エディター操作、音響効果、VectorWorksの操作方法について学ぶ。					
到達目標					
デジタル伝送システムのエンジニア技術向上、現場における各種必要知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	マイクの一般的法則と音響ゲインについて マイクの動作原理とマイクの特性の応用 マイクの指向性とステレオ集音に関して A-B方式 MS方式 XY方式
【前期】 11～20回目	コンプレッサー、ノイズゲートの基本構造と動作について ディレイについて リバーブについて
【前期】 21～30回目	ダイレクトインジェクションボックスについて ラウドネスについて
【前期】 31～40回目	交流電源について LCネットワークとフィルターについて
【後期】 1～8回目	ネットワークオーディオとデジタル伝送構築について DIGICOコンソール オフラインエディターの基本操作 (ストラクチャーからプランニング)
【後期】 9～16回目	DIGICOコンソール プランニングの応用編 YAMAHAコンソール スタジオマネージャーとYAMAHA系エディターについて YAMAHAデジタルコンソール PM5D M7CL LS9 の基本操作
【後期】 17～24回目	ワイヤレスマイクについて デジベルについて 音場測定ソフトウェア Smart Live8について
【後期】 25～32回目	デジタルパワーアンプの駆動について デジタルイコライザーについて 楽器の表記やオーケストラの編成について
【後期】 33～40回目	VectorWorksについて スケール 基本操作 VectorWorksについて 仕様書を用いたの作図 VectorWorksについて スピーカー図面 ステージPLOT
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	今後益々発展していく「デジタルシステム」確かな教養は、技術に繋がります。
使用教科書	オリジナルテキスト随時配布(PDF)

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音響工学		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	41回(82単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ PAコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:29年 大手PA会社を経て現在数々のコンサートツアー現場で活躍中 一方ホール管理スタッフも同時に担当しマルチに活躍				
授業概要					
様々な音響機材の知識向上を狙い「実技実習」に繋げる。					
到達目標					
世界規格による接続方法取得・センターロジックの構想。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	Mic1 SHURE,AKG Mic2 SENN,ATM DI、Stand
【前期】 6～10回目	Cable、Connector MultiCable GEQ,C/D
【前期】 11～15回目	MAIN SP/FB SP PowerAmp H/Phone,E/Phone
【前期】 16～20回目	アナログ/デジタル録音再生機 RTA SPL
【後期】 1～4回目	REV DELAY SEQ
【後期】 5～8回目	MIDI iTunes Ableton Live
【後期】 9～12回目	Qlab Hi-Res DJ Mixer
【後期】 13～16回目	Sampler Driverack 260 センターロジックによるオペレーション 1 カラオケ
【後期】 17～21回目	センターロジックによるオペレーション 2 結婚式 SSR-200 WORD CLOCK
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	座学の教養がサウンドエンジニアの技術構築になります。 勉強は「ウソ」つかないです。頑張りましょう！
使用教科書	オリジナルテキスト随時配布(PDF)

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	Pro Tools講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	41回(82単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> PAコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 32年 コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後 トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディン グエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。				
授業概要					
ProToolsを使ったPC上でのMixのノウハウを学ぶ。 「音」を聴覚だけではな視覚で読取る。					
到達目標					
ProTools上でのエフェクト・EQを含めたMix技法の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	ProToolsについて Protoolsについて～バランスどり
【前期】 6～10回目	Protoolsについて～Reverbを使ってバランスどり バランスどり、ファイルを保存
【前期】 11～15回目	Mix試聴 & コメント書き
【前期】 16～20回目	スピーカーで試聴、コメント発表
【後期】 1～4回目	Reverb ダイナミクス系エフェクター & EQ
【後期】 5～8回目	MIXに必要なProTools技術 Delayとモジュレーション系エフェクター
【後期】 9～12回目	Reverbなど空間系エフェクターの応用
【後期】 13～16回目	ダイナミクス系エフェクター & EQの応用
【後期】 17～21回目	MIX
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	世界標準機「Pro Tools」多くの技術を習得して下さい。
使用教科書	オリジナルテキスト随時配布(PDF)

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	半田製作講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> PAコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:17年 PA会社にて機材管理・メンテナンス・オペレーターを経て現在は音楽コンサート以外にもスポーツイベントなど様々な現場にて活躍中				
授業概要					
半田付けの技術およびケーブル・コネクタの構造について学ぶ。					
到達目標					
トラブル時の修理などの対応する技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	クラフト フォンコネクタ説明、TS、TS⇄オス&メス、TRS フォン(TS)半田付け、TS、TS⇄オス&メス、TRS
【前期】 11～20回目	TS⇄オス&メス×2 TS⇄オス&メス、TRS(細)、TRS(4E6S) TRS(細)×1、TRS(4E6S)×3
【前期】 21～30回目	TRS(4E6S)×3、TS×1、XLR×1 マルチコネクタ説明、XLR×1、TS×1、TRS×1
【前期】 31～40回目	カラーコード説明、XLR×1、TS×1、TRS×2 スピコン説明
【後期】 1～8回目	スピコン×3、XLR×3 スピコン×3、XLR×1、TS×1、TRS×1
【後期】 9～16回目	クラフト ケーブル作成
【後期】 17～24回目	RCAコネクタ説明 ステレオケーブル作成
【後期】 25～34回目	クラフト ケーブル作成
【後期】 35～44回目	ケーブル作成、クリーニング
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	音響のケーブルは、そのほとんどが「ハンダ付け」によって接続されています。まさにこの技術が「音質の向上」につながります。
使用教科書	オリジナルテキスト随時配布(PDF)

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA実習Ⅱ-A		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ PAコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験29年 PA会社を経て数多くのアーティストのPAサポートを行い、デジタル伝送システムの構築を発信している。コンサート以外では、テーマパーク、エキシビションのサウンドデザインを担当している。				
授業概要					
12号ホールを使用した各種実習および外部実習を行う。 フルデジタル伝送の知識を深める。					
到達目標					
PAエンジニアに必要なトータル的な技術の取得。 フラッグシップモデルDiGiCo SD7のマスター(12号ホール)					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	12号各種機材説明、SD7,M7CLの基本操作、音を出す SD7,M7CLの音出し、分岐の説明、iPadの接続 2班分けてFOH、モニターの仕込み
【前期】 11～20回目	SD7,M7CLをより詳しく1 FOH,Moni分岐実習1 TB/SE FOH,Moni分岐実習2
【前期】 21～30回目	Lakeの説明 外部Revの接続 ハウス,モニターチューニング 外部実習合同下見
【前期】 31～40回目	ハウス,モニターチューニング マイキング/サウンドチェック
【後期】 1～8回目	外部実習予習 外部実習 仕込み ハウス,モニターチューニング、サウンドチェック
【後期】 9～16回目	トラブルシューティングなど バンドレッスンに向けた仕込みチェック 外部実習準備
【後期】 17～24回目	外部実習に向けて検証会 外部実習合同下見 ハウス,モニターチューニング、サウンドチェック
【後期】 25～32回目	外部実習に向けて検証会2、MADIで接続 YAMAHA デジタルセミナー
【後期】 33～40回目	ハウス,モニターチューニング、サウンドチェック バンドレッスンに向けた仕込みチェック
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好(先輩として後輩の模範となるように) 支給iPad・必要工具・クリップボード持参
使用教科書	オリジナルテキスト随時配布(PDF)

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA実習Ⅱ-B		授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> PAコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験29年 PA会社を経て数多くのアーティストのPAサポートを行い、デジタル伝送システムの構築を発信している。コンサート以外では、テーマパーク、エキシビションのサウンドデザインを担当している。				
授業概要					
本館ホールを使用した各種実習、学内イベントでの実習および外部実習を行う。					
到達目標					
PAエンジニアに必要なトータル的な技術の取得。(本館ホール)					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	本館各種機材説明、PM-5D、SM20の基本操作、音出し PM-5D、SM20の音出し、分岐の説明 2班分けてFOH、モニターの仕込み
【前期】 11～20回目	FOH,Moni分岐実習1 TB/SE FOH,Moni分岐実習2 FDSの説明 外部Revの接続
【前期】 21～30回目	ハウス,モニターチューニング ハウス,モニターチューニング マイキング/サウンドチェック
【前期】 31～40回目	デジタルコンソールで卓返しでのセッティング デジタルコンソール INTERNALについて
【後期】 1～8回目	SEのたたき アナログコンソールを使用してSTAGE上の回線チェック デジタルコンソール、アナログコンソールで分岐してのセットアップ
【後期】 9～16回目	チューニング、サウンドチェック 持ち出し機材を使用し仮設のセットアップ
【後期】 17～24回目	学内イベントに向けてのセットアップ VO,A.G,Cajonのマイキング、音取り
【後期】 25～32回目	DCA,MATRIX,Patchについて 外のホールでの企画イベントに向けての準備
【後期】 33～44回目	STUDIO MANAGER, モニターチューニング インイヤーモニター(IEM)
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好(先輩として後輩の模範となるように) 支給i-Pad・必要工具・クリップボード持参
使用教科書	オリジナルテキスト随時配布(PDF)

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA実地演習Ⅱ	授業形態 / 必・選	演習	必修
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(36単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ PAコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。			
授業概要				
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。				
到達目標				
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。				

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～6回目	学園祭準備①②
7～8回目	学園祭①②
9回目	学園祭片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布